

ヒロシマ・ナガサキ・ヒバクシャの思い受け継ぎ世界へ 世界青年のつどい成功めざす全国交流ニュース

[2006年6月19日 No.8]

発行: 第2回世界青年のつどい準備委員会 電話03 5842 6035 FAX03 5842 6033
URL http://www.geocities.jp/youth_against_nukes/index_jp.html Eメール youth_against_nukes@yahoo.co.jp

非核「神戸方式」まもレンジャー隊員募集 兵庫

世界平和フォーラム参加の青年が通し行進者として三重県内を歩きました。

平和な世界つくレンジャー 実行委員会開催

兵庫 6月3日(土)に兵庫青年ツアーの第1回実行委員会が行われ、兵庫県原水協事務局長の梶本修史さんを講師に招いて原水爆禁止運動のはじまりや、核兵器廃絶の世界の流れなどを学習しました。その後、世界大会に向けてツアーの中身について交流。今後も平和学習を続けていくということで、次回実行委員会では非核『神戸』方式について学習する プレ企画として7月に被爆体験を聞きに行く(日時未定) 「世界大会に参加できない人の思いも広島に届けたい」ということで、9メッセージ(大きな布に貼り付け「非核『神戸方式』」という文字を作る)と折り鶴(高校生を中心に折り鶴アート)を集める「非核『神戸方式』を、日本や世界にアピールしたい!」ということで「非核『神戸方式』まもレンジャー」という寸劇をやる 8月7日の夜、兵庫の青年で交流会をするなどが決まりました。



授業の前に平和行進

三重 世界平和フォーラムに参加する短大生・今井杏菜さんが、三重県平和行進北勢コースの通し行進者として歩きました。報告から紹介します。
6月12日(月) 天気は曇りのちちょっと晴れ。桑

名市庁舎からは約30人が行進に参加。北勢コース通し行進者として、「平和行進初参加で、自分にとっての平和とは何か、それを探したい」と決意を述べました。途中、朝日町役場では、町長さんの歓迎があったり、小学校での平和の取り組みを紹介してもらうなど元気付けられました。行進中、手を振ったり、「こんにちは」と声をかけたりして元気よさをアピールしたりもしました。反応は返ってくるが多かったです。四日市に着いて思ったことは、生きているって素晴らしいということです。だから、命を脅かすような戦争・暴力・差別はなくなかなければならない。

6月13日(火) 天気は曇り、途中から晴れ。四日市から鈴鹿市役所までの行進。印象的だったのは、かつてないくらい行進者がいた、ということをとくさんの人が言っていたことです。腹話術師の岡本さんとその相棒ケンちゃんのミニ学習会的なものもあり楽しかったです。下校途中の子どもが行進に興味を持って一緒に歩いたり、先導カーを追いかけたりと、ほほえましい光景もたくさんありました。



本当に疲れしました。行進のあと学校(短大)があり、そのことを考えると疲れ倍増な気がしました。この行進は約3ヶ月だけのもの。だけど私たちの平和への思いや歩みは『一生』です。頑張りましょう。(その後、今井さんは14日鈴鹿市~津市、15日津市~亀山市、16日亀山市~関町のコースを元気に歩き通しました)